

張愛玲文学作品における上海語研究(8)

—『傾城の恋』を中心に—(その3)

吉田陽子

『傾城の恋』について(第178-190頁)

I 動詞

頁-行	下線の語彙—上海語の動詞等 ローマ字—上海語の発音	説明 (文章の翻訳)、(共通語)
178頁-14行 (以下「178-14」 と略す)	柳原用手抚摸着下巴, 微笑道“你 别枉担了这个虚名! 枉担(wāndài)	(柳原は手であごを撫でながら、「空評判でも無駄 にしないで下さい」と微笑んで言った。) 枉担: 無駄にする。枉担 = 〈白费〉
178-17、18	然而她如果迁就了他, 不但前功 尽弃, 以后更是万劫不复了。她 偏不! 就算她枉担了虚名, 他不 过口头上占了她一个便宜。 枉担(wāndài)	(ところが、もし彼女が彼の事を大目に見てしまえ ば、今までの苦労は水の泡になるだけでなく、そ の後永久に元に戻れなくなる。彼女はあえてそう はしたくない。たとえ彼女が空評判を無駄にしたと しても、彼は口先だけで得をするのであった。) 枉担: 無駄にする。(前掲「178-14」に同じ。)
180-13、14	她红了脸, 白了他一眼。 白眼(bhǎk gháe)	(彼女は頬を赤くし、彼をちらっと睨み付けた。) 白眼: ちらみつける。白眼 = 〈瞪眼〉 《白勒一眼 bhǎk lèk yik gháe》または《白勒白 眼 bhǎk lèk bhǎk gháe》がよく使われている。
181-3、4	流苏慢腾腾摘下了发网, 把头发 一搅, 搅乱了, 夹叉叮呤当啷掉 下地来。 搅(gháo)	(流蘇はゆっくりとヘアネットを外して、髪の毛を ちょっと巻き上げると、乱れてしまい、ヘアピンが カチャリと地面に落ちてきた。) 搅: 巻く。搅 = 〈巻〉 《夹叉 ghǎk cò》: ヘアピン
181-5	柳原已经光着脚走到她后面, 一 只手搁在她头上, …… 搁(gok)	(柳原はすでに裸足で彼女の後ろへ来て、片手を 彼女の頭の上に置いて、…) 搁: 置く。搁在 = 〈放在〉
182-4、5	家里还没有开火仓, 在那冬天的 傍晚, 流苏送他上船时, 便在船 上的大餐间里胡乱的吃了些三明 治。 开火仓(kàehūcàn)	(家ではまだ食事を作っていなかったもので、あの 冬の夜、流蘇は彼を見送りし乗船すると、すぐに 船のレストランで、サンドウィッチをガツガツと食べ た。) 开火仓: 炊事をする。开火仓 = 〈做饭〉
184-8	阿栗道: “这儿登不得了! 我—— 我带他到阴沟里去躲一躲。” 登(dèn)	(阿栗は、「お宅にはもう居られない! 私、…私は あの子を連れて、地下溝にちょっと隠れておくか らね」と言った。) 登: 滞在する。「登不得」は、《登勿得 dènvèk dek》にも使われており、可能補語を附加した用

		法。登不得＝〈呆不得〉
186-8	到后来一间敞厅打得千疮百孔，墙也坍了一面，逃无可逃了，只得坐下地来，听天由命。 坍(tàe)	(後になると、大広間が銃弾で傷だらけとなり、塀の一面も崩れ落ちたので、逃げたくても逃げられず、地面に座って、成り行きに任せるしかなかった。) 坍:崩れ落ちる。坍＝〈倒塌〉
186-19～187-1	柳原走得热了起来，把大衣脱下来搁在臂上，臂上也出了汗。 搁(gok)	(柳原は歩いているうちに暑くなってきて、コートを手を脱ぎ、腕に掛けていたが、腕も汗をかいてきた。) 搁:置く。(前掲「181-5」に同じ。) 搁在＝〈放在〉
189-14	柳原歇下脚来望了半晌，感到那平淡的恐怖，突然打起寒战来，向流苏道：“……”。 歇(xik)	(柳原は足を休め、暫く眺めていたが、平凡な恐怖を感じて、急に身震いして来て、流蘇に「…」と言った) 歇:休む。「歇下来」は方向補語を附加した用法。歇下脚来＝〈停下脚来〉
190-14,15	胡琴咿咿哑哑拉着，在万盏灯的夜晚，拉过来又拉过去，说不尽的苍凉的故事——不问也罢！ 拉(là)	(胡弓をギーギーと音を立て、万盞燈のネオンの夜に、何度も何度も弾いていると、語り尽せない寂しい物語は、聞かないほうがまだしも良い。) 拉:弦楽器を弾く。《拉过来拉过去 làgūlái làgūqī》は方向補語を附加した用法で、動作の繰り返しを表す。拉过来又拉过去＝拉了又拉

Ⅱ 動詞以外の品詞

178-4	许久许久，流苏疑心他可是睡着了，然而那边终于扑秃一声，轻轻挂断了。 扑秃(poktok)	(とても長い時間が経って、流蘇は彼が居眠りしていると思っていたが、ところが、ようやく彼のほうからガチャッと、そっと電話を切った。) 扑秃:擬声語。ガチャッと
179-18, 19	最后大家觉得到底是瞒不住，爽性开诚布公，打开天窗说明话，……。 爽性(sānxīn)	(最後になると、みんなは到底隠せないの、いっそのこと、誠意をもって、包み隠さず話をしようと思った。…) 爽性:副詞。いっそのこと 爽性＝〈索性〉
181-8	然而两方面都是精刮的人，算盘打得仔仔细了，始终不肯冒失。 精刮(jingquak)	(ところが、両方とも利口な人で、なかなか算盤高く、終始軽率なことをしなかつた。) 精刮:形容詞。利口である。精刮＝〈精明〉
183-9, 10	后来她听见阿栗踩着木屐上楼来，一路扑秃扑秃关着灯，她紧张的神经方才渐归松弛。 扑秃扑秃(poktok poktok)	(その後、彼女は阿栗が木製のサンダルを引きずって2階へ上がって来て、通った処でパチパチと電灯のスイッチを消しているのが聞こえて、張りつめていた神経をやっと次第に緩めていった。) 扑秃扑秃:擬声語。パチパチと
186-17, 18	海滩上布满了横七竖八割裂的铁丝网，铁丝网外面，淡白的海水	(浜辺の至るところに、切り裂かれた鉄条網がゆがんだ状態で敷かれて、鉄条網の外では、淡い海

	汨汨吞吐淡黄的沙。 横七竖八(hhánqíkshíbak)	水がサラサラと薄黄色の砂を吸い込んで吐き出している。 横七竖八：熟語。(物が)ゆがんでいる状態。 横七竖八＝〈东倒西歪〉
187-15、16	柳原拎了铅桶到山里去汲了一筒泉水，煮起饭来。 铅桶(kàedhón)	(柳原は、バケツを提げて山中へ一杯の湧き水を汲んできて、ご飯を炊き始めた。) 铅桶：名詞。バケツ(上海語では、バケツは材料を問わず、すべて《铅桶 kàedhón》という言葉で表すことができる。) 铅桶＝〈水桶〉

(完)

【参考資料】

榎本英雄／范晓 著『エクスプレス上海語』(白水社)1996年4月5日第6刷

阮恒輝 著『上海話教程』上海辞書出版社、2014年8月

錢乃栄 編著『上海話大詞典』上海辞書出版社、2008年4月第5版

丁迪蒙 著『学説上海話』上海科技文献出版社、2015年1月第2版

宮田一郎 編著『上海語常用同音字典』光生館出版、昭和63年9月10日初版発行

【参考文献】

張惠苑 編集『張愛玲年譜』天津人民出版社、2014年1月

余斌 著『張愛玲伝』広西師範大学出版社、2001年12月第2版

「張愛玲作品」

『伝奇増訂本』上海・中国図書雑誌公司出版、民国35(1946)年11月増訂本初版